

学習課題（小学校3年生）



【国語】計画を立てて、少しずつ取り組んでいきましょう。

〈学習内容〉 ※ノートか取組シートに書きましょう。

◆「三年とうげ」（教科書㊦66～80 ページ）に取り組めます。

自分の好きな世界の民話や昔話をおうちの人にしょうかいする学習でしたね。
お話の『**組み立て**』をとらえると、**ないよう**や**おもしろさ**をしょうかいしやすくなるので、『**組み立て**』をとらえられるようがんばりましょう。



- (1) 組み立て『② 出来事が起こる』をとらえます。このお話の出来事（**事件**）を書きましょう。
※70 ページからさがしましょう。

～組み立て～

- ① 始まり（時・場所・登場人物）
- ② 出来事（**事件**）が起こる
- ③ 出来事（**事件**）が**解決**する
- ④ おすび（その後、どうなったか）

- (2) 『③ 出来事が解決する』をとらえます。②の出来事は、新たにどんな人物が登場し、どのように解決したか、書きましょう。
- (3) 『④ おすび』をとらえます。③の出来事の後、おじいさんはどうなったか、書きましょう。
- (4) 「三年とうげ」を読んで、おもしろいと思ったのはどんなところですか。次の文をさん考にして、書きましょう。
- ・ 出来事とその解決などの、物語の組み立て。
 - ・ 登場人物の行動や様子の表し方、また、その変化。
 - ・ 言葉の使い方や文の調子（表現のしかた、読む時のリズム）。
- (5) 自分が読んだ民話や昔話について、登場人物や出来事、おもしろかったところやその理由をしょうかい文にして、書きましょう。
※79 ページの『3 しょうかいのれい』をさん考にしましょう。
- (6) (5) で書いたしょうかい文をもとに、おうちの人に本をしょうかいしましょう。

◆「たから島のぼうけん」（教科書㊦81～85 ページ）に取り組めます。



この学習では、「三年とうげ」で『組み立て』をとらえた学習を生かして、物語を書きます。『**組み立て**』にそって、自分がそうぞうした場面の様子や登場人物の様子が伝わるように書くことで、読み手がわくわくする物語になりますよ。

- (1) 教科書 81 ページを読み、学習内容をつかみましょう。
- (2) 教科書 82 ページの地図を見て、物語の内容をそうぞうしましょう。
※「物語のないようを考えるとときには」もさん考にしましょう。

(3) (2)でそうぞうしたことをもとに、物語の「始まり」を考えて書きましよう。

- ・登場人物のとくちょう(名前、せいかく、とくぎなど)
- ・時(きせつ、時間)
- ・場所 など

(4) 物語の組み立てを考えます。教科書83ページ「物語の組み立てのれい」をさん考に、表で整理しましよう。

「食べ物のみみつを教えます」などで学習したように、物語を『はじめ』『中』『終わり』に分けて書きます。今回は組み立て②③が『中』にあたります。

終わり	中		はじめ
4段落	3段落	2段落	1段落
④むすび	③出来事(事件)が解決する	②出来事(事件)が起こる	①始まり
<ul style="list-style-type: none"> ・ たからばこには植物のたねが入っている。 ・ 家に帰り、植える と目をうたがう ほどの大きさを のくだものが取れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワニのなみだがたからばこのカギにへん化する。 ・ ニの目をくらませる。 ・ はんしゃして、ワニの目をつけている ・ バッジが光に ・ むねにつけて 	<ul style="list-style-type: none"> ・ つり橋を歩いて いると中、つり ひもが切れて川 に落ちる。 ・ 川にながされ、 いじわるワニ のいる草原に たどりつく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ しょうごはりよ 行中、あらしに あう。 ・ 仲間とはぐれて 島に着く。

整理の例

(5) 組み立てにそって、物語を書きましよう。157ページ「言葉のたから箱」にある言葉も使ってみましよう。書いたら、主語と述語は合っているか、文字にまちがいはないかなど、たしかめをしましよう。
 (6) 物語をおうちの人に読んでもらい、感想を聞かせてもらいましよう。

◆「冬のくらし」(教科書⑧86～87 ページ)に取り組みます。

- (1) 「ゆき」の暗唱あんしょう(教科書を見ずに、声に出して唱となえること)にちょうせんしましよう。
- (2) 「ゆき」を読んで想ぞうしたこと、思ったことを書きましよう。
- (3) 86 ページの例をさん考に、身の回りで見つけた冬を感じるものについて、書きましよう。

◆教科書⑧80 ページで学習する新出漢字(「息」～「始」)を練習します。

- (1) 155 ページを見て、ひつじゅんを指で書いておぼえましよう。
- (2) 読み方、使い方を声に出して言ってみましよう。
- (3) 出てきた漢字を使って、文を作り、ノートに書きましよう。



<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・「たから島のぼうけん」では、一緒に地図をご覧くださいながら想像したことを伝え合うことで、お子さんの発想が膨らみ、学習意欲につながります。
- ・「冬のくらし」の『冬を感じるもの探し』では、食べ物や行事、生活用品などおうちの方が感じる冬らしさを伝えてあげてください。